

Bloom Letter

英語のブルーム(bloom)は開花期・花盛り・元気・健康真っ盛り・顔の健康色という意味です。

暑さ寒さも彼岸まで、すっかり春めいてきました。

各施設では、それぞれに工夫をこらしたひな祭り行事が催されました。

デイサービス八重桜 本店

「おじゃみ(お手玉) ポンでレクリエーション」三月三日



今回初企画の「おじゃみポン」。これは、箱に開けた穴めがけておじゃみを投げ入れるゲームです。箱のフチにおじゃみが乗ると高得点がもらえます。新しいレクリエーションなので、利用者様は勝手がわからないまま始められますが、コツがつかめると次第に熱が入ってきて、最後には真剣な表情になっていらっしゃいました。高得点がつく「フチ乗せ」ばかりを狙っても、なかなか思い通りには乗りません。「もう一回！」と再度チャレンジされる方もおられ、とても賑やかな時間となりました。今後新しいレクリエーションを準備していきたいと思っておりますのでご期待です。

「みんなでカーリング」三月八日

去年の平昌オリンピックでカーリングが話題となり、八重桜本店でもレクリエーションに取り入れてみました。ブロック式のマットに点数を付けて敷き詰め、ストーン替わりの木製コースターを掃除用のワイパーで押し出します。マットの上で止まった点数を合計して競います。真剣な眼差しで少しでも高得点を狙おうとする利用者様の表情はまるでオリンピックに挑む選手様の表情です。うまくいっても外れても歓声上がる、楽しい時間となりました。



「ホワイトデー&手作りおやつ」三月十四日



ホワイトデーは、男性から女性にバレンタインのお返しをする日ですが、この日は男性にも女性にも喜んで頂くために、手作りのチョコレートムースにしました。皆様美味しそうに召し上がってくださいました。バレンタインに引き続き女性の利用者様にチョコレートのつかみ取りをして頂きました。主婦魂が繰り広げられ、小さな手でも多くのチョコレートをつかみ取りする利用者様もいらっしゃいました。今後も手作りおやつつきの機会を設けていきますのでおたのしみ！

馳せ走る

食の匠

のひとりごと

お弁当

西 勝康

今年もお花見のシーズン到来です。

花見と云えばお弁当持参で桜の下で宴会ですよね。若い頃は恒例行事のように楽しみにしたものです。色とりどりの料理の詰め合わせ弁当は世界的にも他に類を見ない文化です。

一言で、お弁当といってもその場に依って様々な呼び名があります。例えば「幕の内弁当」や「駅弁」があり、また主となる食材による呼び名も「鮭弁」「海苔弁」「牛肉弁当」「日の丸弁当」などがあります。更に容器によって「松花堂弁当」や「輪っぱ弁当」「折詰弁当」もありますよね。

とにかく弁当を掘り下げれば沢山の文化の宝物が出て来そうです。

デイサービス八重桜 朱雀



【朱雀手作りおやつの日】三月二日
 毎月恒例の朱雀館手作りおやつの日です。今回は「朱雀チュロス」春風にのせてです。

チュロスの起源は、ポルトガルともスペインとも言われています。が、利用者様の年代にとっては昔懐かしい味の代表、細い揚げパンです！それを生クリームにつけて召しあがれ。皆様に朱雀館特製チュロスを堪能していただきました。毎回ですが、美味しいものは売り切れるのが早いです。作ったシェフも喜んでおり、次回も期待に負けないごちそうを用意してくれるでしょう。

【昔懐かしい紙相撲大会】三月四日

一九七五年に週刊誌で取り上げられたのをきっかけに一大ブームになった「紙相撲」。この懐かしい紙相撲大会を開催しました。ルールはご存知の通りで、二つの人形を台の上で振動させ、中央へ向け移動させ、相手の人形を倒すか、押し出すゲームです。やってみると「懐かしい！楽しい！」の歓声。皆様が横綱を目指し、指をトントンさせておられました。それは子どものように目をキラキラさせて、夢中になっていらっしゃいました。子供の頃の遊びはいつやっても楽しいですね。これからもいっばいご用意しますね。



【カラオケのご自慢大会の開催】三月十七日

朱雀館の「のご自慢」の方達が集まりました。昭和の名曲が次々と流れ、自分の番以外でも口ずさまれていました。そして、やってきました歌う番。本当に、日頃の練習の成果がでます。「練習はつそをつかない」と言いますが、本当ですね。あつという間に時間が経ちましたが、皆様の達成感のある表情を見ると、また近いうちに開催しようと思えました。それまで、またしっかりと楽しく練習をしておいでください。そして、その歌声を聞かせてくださいね。



デイサービス八重桜 押熊



【押熊ひな祭りカフェオーブン】三月三日

押熊カフェは、皆様からドリンクオーダーをうかがう、カフェスタイルのおやつの日です。この日の手作りおやつはホットケーキでしたが、皆さんとワイワイと言いながら焼いて食べられていました。皆さん甘い物は大好きそうでおかわりを希望される方までおられました。その後、山口職員の出くしれ演奏に合わせて、うれしいひな祭り、花、おほる月夜、真つ赤な太陽、瀬戸の花嫁、ふるさと、などの歌を皆様で歌って楽しみました。ベッドで休んでいる方の前で弾き語り演奏すると目に涙を浮かべて喜ばれていました。

【皆と一緒に工作の日】三月七日、八日

二日にわたって、利用者の皆様共同で切り絵の大きな桜を作成してもらいました。大きな台紙にノリを塗り桜の葉っぱに見せたピンクの色の紙を沢山貼って頂きます。皆さんの作れない箇所は、職員が手伝いながら作り上げました。皆さん一人ひとり個性があり一つとして同じ模様は出来ていませんが春らしく出来上がり、皆さん「綺麗やね」「春やね」と声に出されて喜ばれていました。皆さんに沢山作ってもらったのでフロアを桜でいっぱいにさせていただきます。



【今は懐かしい習字教室】三月十五日

今日は月に一度の習字教室の日です。近頃は文字を書く機会が少なくなり、習字教室を断られる方もおられますが、この日はそんな人にこそ書いて頂くとう、皆でワイワイ言いながら「はる」「花見」「春風」「さくら」等の習字定番文字を書いていただきました。中には若い頃に習字を習っていた方もおられ、久しぶりに筆をとられてもやはり綺麗に書かれていました。また、右手が不自由で普段は左手利きの方も何故か習字の時には右利きになり、ご本人様も不思議がっていらっしゃいました。



デイサービス八重桜 平城



【毎月楽しみの工作の日】三月十二日

今日は工作の日、三月といえばおひな様！とごうごとおひな様の人形を作りました。難しい作業はできるだけおひな様にはおひな様の顔を描いてもらって張り合わせる作業をしていただきました。顔ひとつにしてもそれぞれ個性が出るようで、優しい顔、怖そうな顔、面白い顔と千差万別です。性格が分かるようでとても興味がありました。今後もこのような色々な企画を考えて利用者様の活性化を図っていけるように頑張ります。

【今月の誕生日会】三月十三日

今月の誕生日会は、新しい入居者様も含めて何と！十一人です。一年を通じて最大の誕生日会です。担当した職員も毎月誕生日記念としてお渡ししている色紙作りが大変時間がかかったそうです。七十〜九十代まで、皆様ともお元気で職員一同とても嬉しく思っています。人生百年時代と言われ始めています。がそれも納得できますね。



【みんなで手作りおやつの日】三月十四日

今日は、入所者様全員で手作りのホットケーキを作りました。洋風のおやつはあまり作られた経験がないせいか、ホットケーキの作り方を熱心に聞いておられました。材料を流し込むと甘い香りが部屋いっぱいに漂っています。手際の良い方、少し戸惑う方それぞれのタイプに分かれますが、テーブルごとに協力しあって終わってみるととても満足できるホットケーキが出来上がりました。

一口食べるたびにあちらこちらから歓声が上がっていました。頭の体操や指の体操にもなりますので機会を作って様々なおやつ作りを企画したいと思います。

在宅での老々介護

奈良市においては、高齢者がいる世帯は年々増加して全世帯の三分の一が高齢夫婦世帯となっています。このことは在宅での家族介護は今や老々介護の実態そのものとなっています。老々介護とは介護する人、される人ともに六十五歳以上ということですが、

介護保険制度施行直後と比較すると増加の一途をたどっており、老々介護は約半数で今やこの国の介護は、老々介護が主流となつていきます。

桜の広場

介護保険制度は、約二十年前にできた当時は同居家族がいることが前提であり、介護の社会化ということでヘルパー、デイサービス等の支援を得て主たる介護者一人でも何もかもすべてを賄わなくてもよくなりました。この制度により

主に身体介護の部分の負担はおおいに軽減されました。しかしながら同居家族が居れば家事援助サービスは制限され利用しがたくなっています。

若くて体力がある同居家族がいるという同居家族モデルは、今の実態を反映していません。老々介護や独居高齢者のみの世帯が更に増加する今そして将来に向けて、「強い」介護者をモデルとする介護政策から「弱い」老介護者でも、在宅介護

が成り立つように支援の枠組みを変える必要があります。まず、介護保険での家事援助を家族介護力のレベルに応じて柔軟に運用されるべきでしょう。

西 勝康

今月の名言格言

前進できぬ駒はない

中原 誠 (棋士)

「心の故郷（ふるさと）」



高井 健一

八重桜に勤務してはや三年半になります。一年目の朱雀館で勤務していた頃、レクの時間に戦前の李香蘭（山口淑子）の歌を利用者の皆さんの前で唱えていると、懐かしそうな顔つきで口ずさむ方、「よく流行ったね」とつぶやく方、にっこり笑ってうなずく方……。皆さんそれぞれ、過去の思い出を振り返りながら聞き入っておられるのだ、と感じました。私にとってはテレビやCDでしか知らない懐メロが、実際に流行った時代があったことを再認識することができ、その時代を生きてこられた方々が目の前におられ、その時代に一歩踏み入れることができた様な感動を覚えました。

また別の時にも、昭和一〇年代前半に流行った「満州娘」を唄っていると、普段は静かに一日を過ごされている通所の方が一緒に唄い出され、少年時代に満州に住んでいたこの歌が懐かしいと話してくださいました。

十九歳の時日本を離れ、アメリカで長年暮らしていた私。渡米した時祖父は既に亡くなっており、「すぐ帰ってくるからね」と別れたものの再会することのなかった祖母。利用者の皆さんの姿が、私の心の中で、知らず知らずのうちに祖父の姿と重なりあい、皆さんとの絆が深まっているのかも知れません。生まれ育った故郷にはもうないかも知れませんが、「心の故郷（ふるさと）」として自分の心の中にずっと残り続け、懐かしい歌を唄い思い出を語り合うことで、この「ふるさと」がよみがえってくる、と思います。

現在、平城館で勤務しています。今後とも、利用者の皆さんとの心の触れ合いを大切に頑張っていきたいと思っています。

俳句教室発表句

（敬称を略します）

夜桜と 酒に癒され ほっこりと

中山 彦三郎

夜桜とお酒って雰囲気良いですね

天皇さん 退位の日 迎えられお疲れ様

田中 鶴太郎

本当に三十年間有難うございましたって感じですよ

初ひ孫 八園式の 記念写真

野崎 絹子

写真を見ながら「おめでどうって気持ち伝わってきます

山笑う 春にウキウキ こいがかれ

丸谷 正子

春になると心も身体もウキウキですよ

夜桜や 七輪囲んで 花見かな

豊田 レイ子

夜桜でのお花見とっても素敵ですよ

紅梅に 早く来てよと ウグイスさん

縄井 美法

早く春になって鶯さんの声を聴きたいですよ

ホーホケキヨ 春の喜び つたえてる

倉司 壽代

そろそろ春が近くにきています

ひな祭り 皆で飾る おひな様

中村 ひさる

家族でワイワイ準備！楽しいですよ

ひな祭り 思い浮かべて 胸つまる

田村 実

お父さん、大好きです

春うらら 桜花咲く 入学式

沖 富子

皆様の笑顔やサクラ風吹の風景が目につかびます



桜塾（社員勉強会）

講師をお迎えして

私たち八重桜の社員は毎月第四金曜日の夜に介護に関するテーマをメインに勉強会を行っています。今までも「介護補助の実践・実技」、「介護現場における感染症の予防対策」、「緊急時の対応・AED実技講習」など色々なセミナー、実技実践講習会を行ってきました。

第一五七回目の今回からは、新たな試みとして全六回構成での開催となりました。「職業人としての自己の確立」をテーマに、その実現のための手がかりを少しでも提供できればということで取り組みました。そこで、その指導役には専門的な知識・経験・情熱が必要であることは言うまでもないため、サービスマン材の育成、現場支援に活動を特化した株式会社トウルースの川上百合先生を講師としてお招きし、お手伝いしていただくこととなりました。



川上先生は、「サービスマン材の未来を輝かせる」を理念として、全国的にご活躍されています。精通される分野、資格は多岐にわたり、講師実績も豊富な先生です。

その川上先生より、「結果を出し、それが研修生の仕事のやり甲斐と生き甲斐につながるということが、私の使命だと思っております。そのためには、スキルとマインドの両方向から指導いたします。自ら考えて行動に移せる人材を育成する研修は高い評価をいただいております。」とのこと。

最後に、桜塾を通じて、全ての社員がいろいろなことを勉強し、常に気つき成長していく過程で心を満たし、利用者さまに対してより良いサービスを提供することで、自らの生活にも豊かな稔りを得てもらいたい。これがわたしたち八重桜の願いであります。

